

# 北河内 自然愛好会 会報

2017年8月20日 №.100  
北河内自然愛好会発行  
事務局：大東市野崎 3-7-7  
西畑敬一 方

ホームページアドレス：<http://www.cc-net.or.jp/~ja3aeh/3shizen/3-3kitakawati.htm>

## 第 385 回例会「南港野鳥園緑地観察」大阪市

2017年5月16日（火）北川ちえこ

このコースは大阪市の生き物調査で昨年訪れたところでしたが、分からなかった植物もあり、北河内の実力者に期待していました。地下鉄コスモスクエア駅から、元なにわの海の時空館へ続く緑道では、田中さんがいきなりミノボロモドキを見つけられ標本に採られました。この間、コメツブウマゴヤシ（花、果実）、コメツブツメクサ（花、果実）、シロバナマンテマ（花）ヘラバヒメジョオン（花）、チガヤ（花）、タマオオスズメノカタビラ（花）、ヨモギ（葉）はずっと見られました。ハリエンジュの園芸種ハナエンジュ（花）やジャケツイバラ（終わりかけの花）も話題になりました。時空館エントランス棟のハイビヤクシンの植栽の中からオオジシバリがによきによき出て咲いているのも不思議でした。野鳥園緑道に入る手前の空き地ではメリケンカルカヤとフトボメリケンカルカヤが同時に立ち枯れていましたが、後者は初めて知りました。野鳥園までの緑道は日陰のせいかわび切っていないイネ科（アオカモジグサ、タマオオスズメノカタビラ、ヒメコバンソウなど）ばかりでしたが、その中でイトツメクサを教えてくださいました。野鳥園展望台に着いた時はもう1時くらいになっていました。そこで、昼食しながら干潟にいたシギ類などの水鳥を見ました。野鳥の解説は撮影に来ていたバードウォッチャーに教えてくださいました。野鳥園は時間の関係もあり長居もできず休憩だけにし、帰りの緑道の植物観察を中心にしました。ここでも、クララやヤマホタルブクロと言った、こんなところに何でと言うような植物が生えていました。ボウズハルジオン、キレハマメグンバイナズナと初めて聞く植物も見ました。終盤のニュートラム・トレードセンター駅近くでは、セイヨウヒキヨモギやクスダツメクサの群生、白花のシナガワハギを見るなど、ずっと飽きることのない一日でした。参加者の方も、ゆっくり観察できた、どんな植物が出てくるのか興味津々、ピンクのハリエンジュが見れてよかった、面白かった、標本がとれてうれしいなどの感想を聞きました。

◎本文以外に見た植物や動物（見た順に）

オランダミミナグサ、ノゲシ（花）、オッタチカタバミ（花）、キュウリグサ（花）、アメリカフウロ（花）、アキニレ（実生）、カラスノエンドウ（果実）、ヘクソカズラ、ハマサオトメカズラ、ネバリノミノツツリ（花）、ツボミオオバコ、シャリンバイ（花、植栽）、ナギナタガヤ（花）、ヒラドツツジ（花、植栽）、コバンソウ（果実）、ヒルザキツキミソウ（花）、イヌムギ（花）、シバ（花）、メマツヨイグサ、クロマツ（果実、植栽）、ヘラオオバコ（花）、チチコグサ（花）、ハマアオスゲ（花）、シロツメクサ（花）、ヒメスイバ（花）、ナルトサワギク（花）、ハナヌカススキ（花）、クズ、ナンカイヌカボ（花）、スズメノヤリ（花）、セイタカハハコグサ（花）、トベラ（花、植栽）、ノランジン（花）、ナガハグサ（花）、セイタカアワダチソウ、アレチヌスビトハギ、ニワゼキショウ（花）、スズメノチャヒキ（花）、ホソバウンラン（花）、ウラジロチチコグサ（花）、ヒロハウシノケグサ（花）、ヒメジョオン（花）、タチイヌノフグリ（花）、アガパンサス（植栽）、ヌルデ（実生）、キリ（実生）、ガガイモ、カタバミ（花）、オオニワゼキショウ（花）、ブタナ（花）、コマツヨイグサ（花）、ハルジオン（花）、セイヨウタンポポ（花）、ギョウギシバ（花）、ヤブガラシ、タ

ンキリマメ、ニワウルシ（実生）、ヨシ、マユミ（花、植栽）、アキノノゲシ、ヒナキキョウソウ（花）、マスクサ（果実）、ヒマラヤザクラ（果実、植栽）、ヤエムグラ（果実）、カモジグサ、イタドリ、カラムシ、トゲヂシャ、マメグンバイナズナ、ワルナスビ、ムラサキカタバミ（花）、ツキミマンテマ、ヤブカンゾウ（植栽）、ジャーマンアイリス（花、植栽）、シラン（花、植栽）、メドハギ、スギナ、クサイ（花）、シナガワハギ（花）、コヒルガオ（花）、セイバンモロコシ（花）、シナダレスズメガヤ sp、スズメノエンドウ（果実）、オオキンケイギク（花）、ハクチョウソウ（花、植栽）

◎動物：ムクドリ、ハクセキレイ、スズメ、セッカ、トウネン、キアシシギ、チュウシヤクシギ、ソリハシシギ、カルガモ、アオサギ、ダイサギ、カワウ、イソシギ、コチドリ、ツバメ、カラス（一瞬だったのでどちらか分からない）、オオスズメバチ

◎参加者：稲原良三、北川ちえこ、高見君江、田中光彦、長嶋照文、奈良敏子、西尾フミ子、西畑敬一、安藤香子、大蔵秀子（以上10名）

### 第386回例会「淀川の植物観察」

2017年6月17日（土） 木村雅行

梅雨入りして10日ほど経つのに雨が全く降らずカラカラのお天気が続いていました。当日も快晴で、風はあるものの日向はとても暑い一日でした。牧野駅から淀川の河川敷まで穂谷川の堤防沿いに下りました。ゴルフ場横の堤防敷の雑木をまず観察。トウネズミモチ・アカメガシワ・トキワサンザシ・タチバナモドキ・マグワ・ナンキンハゼ・コミノネズミモチなど木の実が野鳥の食べ物となるものばかり。コミノネズミモチ(別名チャイニーズ・プリペット)はこれまでセイヨウウイボタと混同して記録していたものです。

淀川の河川敷の草地では外来植物の草花の花がよく目につきました。ハナハマセンブリ・ユウゲシヨウ・キキョウソウ・ヒナキキョウソウ・ダキバアレチハナガサ・アレチハナガサ・ヒメクマツヅラ・セイヨウヒキヨモギ・クスダマツメクサなど。水辺ではホソバミズヒキモ・オオカナダモ・コカナダモ、ホザキノフサモ・オオフサモなどの水草を確認しました。

河川敷の管理道沿いの林縁には赤黒く熟したマグワの実が少し残っていました。「実もおいしいけれど、葉もおいしいよ。」とご婦人方が葉もかじっておられました。足元の道際にクリーム色で5mmぐらいの雄しべがついた小さな花ガラが沢山落ちて積もっていました。何の花だろうとそのあたりの樹上を捜すとアカメガシワの雄花だとわかりました。

樋之上ワンドで昼飯を済ませたあと、ワンドの周囲の湿地を見て歩きました。ここではヤガミスゲ・カワヂシャ・アズマツメクサ・オオアブノメ・マツカサススキ・ウキヤガラなどの北河内では希少となった植物も生育しています。そしてワンドの水際の草地では北河内では初見のイガトキンソウを田中さんが見つけられました。南アメリカ原産といわれ、メリケントキンソウに似ていますが頭花が大きくて触っても痛くありません。

樟葉駅を目指し帰路につきました。途中の堤防敷ではシロネ・ノグルミ・イヌシデ・ツルフジバカマなども確認できました。

淀川の河川敷は全般としては外来植物が高い割合を占めているところですが、牧野から樟葉付近の水位が増減する低水敷には

北河内では希少となってしまった植物が今も数多く生育していることを忘れず、大切な自然環境として十分配慮してほしいと望みます。

◎参加者：栗田泰子、安藤香子、稲原良三、木村雅行、鈴木永子、高見君江、武田良子、田中英明、田中光彦、長嶋照文、中町芥子、西尾フミ子、西畑敬一（以上13名）



アカメガシワ雄花

JR 津田駅に 10 時集合し、13 分発のバスで穂谷まで行きました。昨夜の雨が降り足りないのか、今にも雷雨がありそうな空模様でしたが、幸い雨には合わず午後からは強い日差しの中を歩くことになりました。この暑い時期に低山歩きをする若さと暇を持って余す 12 名のジジババ集団は、えびこ道へ向かって出発しました。ブタナ、ナツフジ、ヒナギキョウ、コマツナギ、ヒメヤブラン、アメリカズズメノヒエ、ハマスゲ、ツユクサ、ヤブガラシ、ヒデリコなどの花を見ながら歩きます。アキノタムラソウやクルマバナもきれいに咲いていました。

誰かが足元でヒンジガヤツリを見つけました。初めて見る人もいたので、品字ガヤツリというのは、ご覧のように花序の形が、口が三つで品という字に...と説明していると、後ろから「口が三つもあって品がある、まるで中町さんみたいや」という声がしました。聞いていた人たちは瞬時に理解したようでした。きっとナカマチガヤツリと覚えたことと思います。

まだ小さい背丈ながらキツネノマゴもかわいらしい花をたくさんつけていました。畑で栽培されている何本ものオオケタデが見事な花をつけていました。まだ花はないがヤナギイノコヅチがたくさんあるのにも気がつきました。メヤブマオと思われる葉の形のものも花をつけていました。木村さんが 2 枚の葉を採ってきて、どちらも同じ形だが、一枚は葉が分厚くヤブマオのような感じだが、毛はメヤブマオのように立っている。もう 1 枚の葉はメヤブマオのように薄いけれども、毛は伏毛でヤブマオの特徴をしている。従ってどちらも中間的で雑種ではないかと思われる、と説明された。

えびこ道の手前でイタビカズラのまだ小さな実を確認する。えびこ道に入ってすぐ紅色のゲンノショウコの花を見る。ヤマクルマバナのような花もたくさん咲いていた。ニガナ、オニドコロ、ヌスビトハギ、早咲きのヤマハッカやツリガネニンジンの花、トウバナ、ノアザミ、ダイコンソウ、ミズヒキなどの花、シダ類の数々を見ながら急な坂道を登る。途中で西畑さんが、羽化直後でまだヤゴの殻にしがみついている大きなトンボを見つけた。皆で次々に写真に撮る。その後杉林を抜け、コンゴウタケやヒロウザサも見て枚方の野外活動センターに到着。30 分ばかりの昼食タイムとなる。蚊取り線香を焚きながらの食事となった。

食後、ガンクビソウやサジガンクビソウを見ながら白旗池まで歩く。途中でアオギリの実を見たがまだ小さく熟していなかった。（前日の 29 日に村野サプリの正門横で見たアオギリの実は大きくてまだ弾けていない状態で、割ると中にグリンピースのような青くて柔らかい種子があり、食べてみるとそこそこいける味だった。）白旗池に着き、後は下るだけなので大休止をとる。

休憩後、堤防のメマツヨイグサとまだ食べられそうなワラビが混生しているササやぶの中を下り、川沿いの急な道を歩く。途中アレチヌスビトハギ、ヒメキンミズヒキ、ヨウシュヤマゴボウ、アキノタムラソウなどの花を見る。ヤマジノホトトギスの群生はまだ花芽もつけていなかった。その前にホトトギスの鳴き声を聞いたせいか、私の頭の中にはワラジを履いたホトトギスの飛ぶ姿があった。竹炭作りの小屋と広場が近づくとヘクソカズラの花やクズの花も見られるようになった。秋の訪れももうすぐかもしれない。しかし暑い。

源氏の滝で少し休憩し、滝の前で集合写真を撮ってから、いよいよ長い舗装道路を太陽に照らされながら津田駅まで歩くことになる。みんな汗にまみれてみずみずしい顔で歩く。傍目にはカレーシュウを漂わせた疲労困憊のジジババ集団にしか見えなかったに違いない。ふと気が付くと一人だけ、汗もかかずに涼しい顔をして歩いている人がいた。この人は化け物かと思ったが、よく見ると尻尾は見えなかった。まだ少し若いイケメンの山男だ。我々とは普段の鍛え方が違うらしい。

駅が近づいてから、裸地の駐車場でニセシマニシキソウの花盛りを見て、墓地でハタガヤを確認して、小さな湿地でアメリカコナギの白い花を観察する。そしてやっと津田駅裏の日陰のベンチに到着する。

みんなしばらく動きたくない様子だったのでここで解散とする。途中でバテる人もなく、健康な一日だった。

◎参加者：粟田泰子、安藤香子、稲原良三、大倉秀子、影千恵子、木村雅行、高見君江、瀧澤俊彦、田中光彦、西畑敬一、山田良之、山田美鈴（以上12名）

《会員交流コーナー》\*\*\*\*\*

§§<犬も歩けば>創造の森で、5年ほど前に掘った小さな池に、初めて見る腹の黒いトンボがいました。姿形はハラビロトンボですがこれは腹が真っ黒。図鑑にないのでネットで調べたら、ハラビロ♂が成長過程で腹黒になる時期があるとのこと、新種発見ではありませんでした。残念。（5/15・平 研）

§§<犬も歩けば>今朝の星田新池です。

- 1、朝日が射した新緑が水面に映えて、迎えてくれました。
- 2、新池への坂道では路傍のノバラが今日も私に微笑んでくれました。（5/18・平）

§§<岡田三千代さん水彩画個展のご案内>水彩画個展の案内を頂きましたのでご紹介いたします。ご夫婦で自然に対する憧憬に満ちた絵画に勤しまれ、ご活躍されておりましたのでご存知の方も多と思います。数々の水彩画展、会展に出品され、多くの賞を受けられています。

ふるさとの京都・舞鶴市政記念館（赤れんが2号館）において、6月22（木）～27日（火）の期間にその出品作品などを、一刻・光と影—のテーマで展示されるそうです。詳細は添付の案内状をご覧ください。（5/19・稲原良三）

§§<南港野鳥園写真提供のお願い>メーリングリストのみなさま、こんにちは、北川です。16日の南港野鳥園散策に、多くの方に参加していただき有り難うございました。野鳥は野鳥園干潟にいたシギ類や水鳥を、来園していたマニアの方に色々教えていただきました。種類も少なかったので野鳥と言うよりも、繁茂していた緑道の野草観察に終始したと言う感じになりましたが、色々面白い植物が出現し、楽しかったです。

と言うことで、野鳥園は昼食と休憩場になり、写真を撮っていませんでした。参加された方で、撮影されている方がおられましたら提供をお願いしたいのですが、もし、撮っておられましたら北川（chiekosan@osaka.zaq.jp）か太田さん宛に送っていただきたいのですが。

それからボウズヒメジョオンについて：北川が持ち帰ったサンプルは茎が中空で、葉は茎をだいていて、ハルジオンに近いものでした。ネットで調べましたら、ハルジオンに混じって見つかるものと、ヒメジョオンに混じって見つかるものがあり、それぞれボウズハルジオン、ボウズヒメジョオンと書いてありました。それなら、北川の持ち帰ったものはボウズハルジオンではないでしょうか。聞くのも見るのも初めてでしたので、どのように判断していいのかわかりません。記録するにあたり、種名を教えてくださいませんか。よろしくお願い致します。（5/19・北川ちえこ）

§§<会費振り込み連絡欄>「いつも会報楽しみにして居ります。友達にも次々お見せして居りますよ、ご健康祈ります。」（5/ 中原利子）

§§<犬も歩けば>星田新池への坂道、スイカズラが細長い花卉をいっぱいに開いていました。昔々、甘味に飢えていた悪ガキのころ（昭和初期）、この花の蜜を吸うのが楽しみでした。懐かしい花です。（5/25・平）

§§<犬も歩けば>泡風呂の主を覗いてみました。ツヤツヤと気もちよさそうでした。人間が真似たのも頷けます。（5/28・平）

§§<犬も歩けば>新緑が深みを増してきた星田新池、ナラ枯れが目立ちます（添付）。「枯れ木も山の賑わい」として片付けられない気持ちです。わが身も枯れ木……。 （6/ 平）

§§<犬も歩けば>今朝の星田新池、今年も土手の斜面でササユリが迎えてくれました。山からはホトトギスも大きな声で歓迎、山の新鮮な空気が深呼吸の胸の底に沁みました。(6/3・平)

§§<犬も歩けば>今朝のウォーキング、路傍でドクダミ、ホタルブクロが出迎えてくれました。初夏の早朝のさわやかさを醸していました。この白さがいいですね。(6/6・平)

§§<Re: 犬も歩けば>平さま、いつも楽しい画像をありがとうございます。今の時期このホタルブクルにホタルを入れてながめると何とも言えない幻想的な気分になりますね。南星台のホタルも今年も健在でしょうか。(6/7・西畑敬一)

§§<犬も歩けば>南星台のホタル、今年も出ていますが、流れの周囲の木の葉が茂り、ホタル飛翔の邪魔になって見難いです。7月初旬が一番多いでしょう。(6/7・平)

§§<犬も歩けば>道端の草の葉末で朝露が光っていました。カメラで拡大してみたら、外の景色を取り込んでいました。露も生きていました。(アップしてみてください)(6/9・平)

§§<Re: 犬も歩けば>平様、不思議で、すてきな世界をありがとうございました。まるい世界は希望と夢・平和を感じます。球体を見るから情景に奥行を感じるのですね！不思議な感じでした。自然を感じながら夢と希望を追い続けたいですね！(6/10・稲原)

§§<犬も歩けば>久しぶりにモンキチョウと出会いました。ガキの頃からの一番なじみのチョウ、安らぎますね。(6/12・平)

§§<犬も歩けば>早朝6時前、草の葉にいた大きなケムシ(カシワマイマイ)、写すために草の向きを変えてもびくともせず、棒で突いたら、やおら動き出しました。熟睡中だったようです。カノコガは、すべての生きものに課せられた必須の最大のイベント(儀式)―命を次世代に継ぐ―を厳粛に営んでいました。(6/16・平)

§§<犬も歩けば>新池のカイツブリ、私に向かって泳いできて引き返したその豪快な泳ぎ、私へのデモだったのででしょうか。いつものバス道の柵、アオバハゴロモの幼虫、写したとたんにピーンと跳ね飛びました。その跳躍力、凄いものを身に着けています。そこにはテントウムシの幼虫も近寄りがたいグロテスクな姿で出現、その姿に自信があるのかカメラを接近させても逃げようとしませんでした。(6/17・平)

§§<犬も歩けば>今日の出会いです。天野川の堤防の路傍、1、ヒメジョオンが咲き乱れていました。よく見たらいい花です。2、ツバメシジミが写させてくれました。この花によく映ります。3、ササグモは花のウテナで獲物を待ち構えていました。4、ハグロトンボは私を歓迎しているのか、威嚇しているのか、しきりに翅を閉じたり開いたりしました。(6/23・平)

§§<植物園で>1、7月、キイトンボ(大阪府絶滅危惧種、黄イトンボ)の産卵期。交野での唯一の繁殖地の私市植物園へと走りました。水草の池、水草の水槽のあちこちで、連結、産卵していました。今年は多いようです。嬉しさにほころびながら写しまくりました(添付)。

2、林の中を歩いていて、美味そうな赤い実があり、一つ摘まんで噛んでみました。美味しくなかったので吐き出して、その木の説明書きを読んでもみると、実は毒をもっているとのこと、慌てて又唾を吐き出しました。ヒョウタンボクの名。

3、ここで見逃せない夏の雑草ネジバナ。咲いていました。この花を見ていると、なぜか和みます。(7/1・平)

§§<犬も歩けば>暑いですね。今年の夏は堪えます。その熱い中、植物園のムシたちを訪ねました。

1、甲虫類のマメコガネは、我が世の夏を浮かれて、踊っていました。

2、「あなただけよ」他の者には言えない嬉しいことがあったのか、ヒソヒソ話しのマメコガネ。

(7/17・平)

§§<犬も歩けば>今朝のウォーキング、エサキモンカメムシが、ハートを広げて90の爺さんを待っていてくれました。ムシの世界は癒されます。(7/22・平)

§§<犬も歩けば>今日、私市橋下流左岸の草むらで、初対面の小さい白いチョウに出会い、写して帰り調べたら、ヒメシロチョウと判明(添付)。環境省の絶滅危惧種に指定されていてビックリ。暑かっても歩けばドエライものにあたることも…。(7/28・平)

§§<犬も歩けば>庭の柿の木で、ハラビロカマキリの二刀流必殺技、宮本武蔵カマキリに学んだのでしよう。ムシは凄いです。ハラビロカマキリーセミ(7/31・平)

§§<教えて>この虫の名前を教えてください。クマノミズキの葉の裏にいました。(7/31・田中)

§§<回答>田中様、アオバハゴロモの幼虫でしょう。ネットで調べてみてください。(7/31・平)

§§<返信>平様、アオバハゴロモ、ありがとうございます。始めはなんだろうかと思いましたが、やはり虫の幼虫だったのですね。成虫とはずいぶん違う、不思議な姿でした。(7/31・田中)

◎会員異動について(敬称略)

入会:大倉秀子(門真市・5/16)、安藤香子(大阪市・5/16)、瀧澤俊彦(大阪市・5/20)

退会:大須賀尚、政子(枚方市・5/10)、田上三枝子(12/30)

◎編集後記:私事ですが、私のPCのインターネットやメールが不能になり、会報編集がピンチに…。北川さんにSOS!!例会記録やMLの内容を逐一CDに保存して速達で送っていただき、何とか会報の編集ができました!!そんな手間もいとわずご協力いただいた北川様に感謝!!記念の100号をお届けできるのも、これまで会を支えて頂いている多くの方々の確かな応援の賜物です。皆さまありがとうございます。いつものことですが、編集や投稿に関して、お気軽にご意見などお寄せ下さい。(太田)

【諸連絡の窓口】 ◇会の代表者・会長:西畑敬一 072-876-8114

◇会費の納入・会計に関して:稲原良三 072-892-8507

◇会報の投稿・編集に関して:太田理 0743-79-9665 会員交流コーナーなども太田宛メールか郵送で送ってください。 ma36ux75ml@kcn.jp 〒575-0013 四條畷市田原台 7-5-2

北河内自然愛好会 年会費 1000円 郵便振替 00970-4-103735

目次

385 回例会「南港野鳥園緑地観察」北川ちえこ-----1

386 回例会「淀川の植物観察」木村雅行-----2

387 回例会「交野～白旗池から源氏の滝へ」田中光彦-----3

会員交流コーナー-----4

会員異動、編集後記-----6

カラーグラビア版-----別刷

例会案内-----別刷

岡田雅彦氏画「ノイバラ」  
(会報68号2006.12.4より転載)

